

予算決算特別委員会

3月24日～26日の3日間、予算決算特別委員会において平成26年度一般会計予算をはじめとする予算案件11件の審査を行いました。質疑の主な内容は次のとおりです。

総務費

問住宅エコ推進事業を平成25年度末で廃止する理由は。

答本来は平成24年度末で終了する予定の事業を1年延長して実施してきたところである。

問需要のある事業と思われるが、さらに延長はできなかつたのか。

答二酸化炭素の削減効果等を他の事業と比較し、予定通り平成25年度で終了することとした。

問ケーブルテレビ整備がすすめられるが、整備方針と今後の加入率向上への取り組みは。

答未整備地域に対して平成26、27年度で整備

をすすめる。現在の加入率が30%前後であり、全市域への整備により加入率の向上が見込まれるが、更なる加入率の向上に向けて引き続き取り組みたい。

問協働のまちづくりについて地域への説明が十分でないと感じているが、どのような状況なのか。

答これから、単位町内会も含めて積極的に説明していく中で、協働のまちづくりの浸透を図っていききたい。

民生費

問保育士等処遇改善事業の金額と対象となる保育士は。

答保育士等の処遇改善を目的として私立の保育所に補助する。事業費は3,200万円となっている。一人当たりの金額は勤続年数等の違いがあるが、年額で平均約12万円となる。

問処遇改善事業は平成26年度で終了するのか。答国において平成27年

度からの新しい制度に向けて検討がすすめられている。

衛生費

問平成26年度における火葬場建設への対応は。

答平成26年度は予定地における地質調査や測量委託費として500万円を計上している。火葬場の場所が決まったところで執行していききたい。

農林水産業費

問新規事業である畜産振興アドバイザー設置の考えは。

答畜産技術者は何人かいるが、外からみた広い視野での知見によって高山市の家畜改良や経営改善活動に寄与していただくことを目的としてアドバイザーを設置する予定である。

問新規就農者等支援事業の要件緩和による増加分は。答要件緩和による増加分を13件分見込んでい

商工費

問「飛騨高山の名匠」の認定制度はどのような分野を想定しているのか。

答ものづくりにいそいでいる方々にスポットをあてたいと考えている。商工業分野のみならず、農林畜産分野も対象としていきたい。認定基準として経

験年数や年齢要件等を考えているが、認定制度によって技術の継承や産業の振興を図っていききたい。

問高山本線80周年記念事業の内容は。答JR東海、岐阜県、沿線10自治体が連携して行う。また、4月に委員会が立ち上がる予定であり、1年間かけて80周年事業を行い、誘客につなげる予定である。

土木費

問伝統構法木造建築物耐震補強工事の対象件数と予算措置は。

答平成26年度は2件予算化している。対象件数は全市内で何棟あるかは把握していないが、伝建地区内においても100棟以上あることを把握している。

問平成26年度における中部縦貫自動車道事業内容は。

答平成26年度は中切町、上切町区間における用地の先行取得を考えている。

消防費

問消防団員確保に関する平成26年度の取り組みは。

答消防団応援事業所の拡大や消防団員を雇用している事業所を表彰する制度によって、消防団員が活動しやすい環境づくりをすすめる。

教育費

問飛騨春慶弦楽器コンサートはどこで何回予定しているのか。

答東京で市の主催のものをして1回予定している。また、飛騨高山フェア

等においても場を設け、広く文化芸術を発信していきたい。

問高地トレーニング強化拠点施設活用事業として専任スタッフの配置が予算化されているが、どのような体制で配置されるのか。

答医科学サポートのスタッフの常駐を考えている。また、補助員、アドバイザーや管理栄養士を随時配置することによって充実させる予定である。

